

会長挨拶

一般社団法人日本鉄リサイクル工業会
会長 伊藤弘之

あけましておめでとうございます。

本日はお忙しい中、多くの方にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

さらに御来賓といたしまして経済産業省金属技術室より木原室長、一般社団法人日本鉄源協会より宮本会長、普通鋼電炉工業会より渡邊会長にご出席いただいております。高い席からではございますが御礼申し上げます。

さて2020年（令和2年）が始まりました。今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、新年早々、世間では嫌なニュースが飛び交っております。こうした状況下ではありますが、我々工業会としましても皆様のご協力をいただきながら今年一年、工業会活動を進めてまいりたいと思います。

私の今年の目標として3つの大きな柱を掲げております。

1つ目は一昨年より問題になっている雑品問題に絡む鉄スクラップの品質問題です。各支部では品質向上委員会（仮称）を立ち上げて各メーカーと意見交換を行い、我々の主力製品であるH2の品質を上げるためにどうすれば良いのか若手の方々を中心に取り組んでおります。“Japanese H2”がいかに良いものであるのか、我々が自信をもって納めることができる鉄スクラップを作りたいと思っています。そのために各支部で行なっている委員会を積極的に支援するとともに本部として何ができるのか、何を行なうべきかについて検討してまいりたいと思います。

2つ目は会計システムの向上です。ご承知の通り当工業会は会員の皆様よりお預かりしている会費によって運営されております。その会費の運用について透明化、明確化を推進するため会計システムの向上を目指します。新しい会計システムを導入し会計システムの“見える化”を進めていきたいと思っています。まだ各支部にて準備いただくべきことはたくさんありますが、会費がどのように使われているのか会員の皆様にも理解していただけるようなかたちにしたいと思っています。

3つ目は女性部会の創設です。これは、ある支部の方からいただいた意見なのですが、私も賛同いたしました。現在、我々業界にとって人手不足が問題になっています。外国人労働者の登用ももちろんですが、女性の登用が有意義ではないかと思っています。男性の視点よりも女性の視点で考えていただきたい。女性の視点で考えることによって女性が働きやすい職場を我々の手で作り上げたいと考えております。どのようなかたちで進めていくのか今後、検討していきますが、女性の考え方、女性の視点を導入することによる職場の改善を実施したいと思っています。

以上3つを私の今年の目標として掲げさせていただきます。今後、様々な問題が出てくると思いますが、皆様方のご協力、ご指導をいただきながら、工業会運営を推進していきたいと思っています。よろしくお願い致します。本日はありがとうございました。